

**日本評価学会第19回全国大会**  
**「SDGsの国内展開と評価～Localization of SDGs and Evaluation～」**  
**大会日程**

2018年12月1日（土）

2018/11/27

09:30-10:00	受 付		
午前の部 10:00-12:00	<共通論題1> SDGs評価：未来の世代に、 素晴らしい世界を2  (佐々木亮) 経済103	<自由論題1>  評価手法  (齊藤貴浩) 経済203	<自由論題2>  行政評価  (南島和久) 経済202
お昼休み 12:00-13:15	お昼休み (12:05~13:00 理事会 経済100)		
午後の部I 13:15-15:15	<共通論題2>  評価の国際的潮流  (湊直信) 経済103	<共通論題3> 日本のエビデンスに基づく 政策（EBPM）への取組と期 待：EBPM導入現場の実情  (正木朋也) 経済203	<自由論題3>  自治体評価  (小島卓弥) 経済202
午後の部II 15:30-17:30	<シンポジウム>  国内のSDGsに関する活動事例とその評価  (氏川恵次) 経済111		
17:40-18:20	総会 経済111		
18:30-20:00	懇親会 食堂		

2018年12月2日（日）

09:30-10:00	受 付		
午前の部 10:00-12:00	<共通論題4> 国際協力機構（JICA）にお ける新たな取り組み  (青柳恵太郎) 経済103	<共通論題5> 政策評価制度とその断片化 —行政学からの議論—  (山谷清志) 経済203	<共通論題6> 評価的思考：日本のソー シャル・セクターに活用重 視の評価を広める鍵概念  (今田克司) 経済202
お昼休み 12:00-13:15	お昼休み (12:05~13:00 編集委員会 経済100)		
午後の部I 13:15-15:15	<共通論題7> 国の施策・事業の評価～行 政評価局調査の新たな展開 ～  (長澤真吾) 経済103	<共通論題8> 国会の政策分析・評価機能 強化の為の独立財政機関 (IFI)の国会への付置  (廣野良吉) 経済203	<ラウンドテーブル1> 評価ディベート：評価のお 悩み相談会2018  (小島卓弥) 経済100
午後の部II 15:30-17:30	<共通論題9> SDGs達成に向けた評価のキャ パシティ・ビルディング：グ ローバル目標と現場の実践を つなぐのは誰か？  (米原あき) 経済103	<ラウンドテーブル2>  再考「評価の研究」  (西出順郎) 経済100	<自由論題4>  人材育成・学校評価  (佐藤由利子) 経済202

( )は座長です。自由論題報告の時間は原則として、発表20分、質疑8分、交替2分（計30分）です。

【大会参加費】	
学会員	2,000円
准会員	3,000円
非会員一般	4,000円
非会員学生	3,000円
懇親会	4,000円

発表会場（共通論題、自由論題）	: 経済103、203、202
総会、シンポジウム	: 経済111
大会本部、休憩室	: 経営205、経営204
理事会、編集委員会、ラウンドテーブル	: 経済100
懇親会	: 食堂

**日本評価学会第19回全国大会「SDGsの国内展開と評価～Localization of SDGs and Evaluation～」**  
**プログラム詳細**

2018/11/27

<b>2018年12月1日(土) 受付 09:30-10:00</b>			
<b>2018年12月1日(土) 午前の部 10:00-12:00</b>			
<b>共通論題1 SDGs評価：未来の世代に、素晴らしい世界を2</b>			<b>経済103</b>
		座長 佐々木亮	国際開発センター
K1-1	民間企業のSDGsレポートの課題と方向性	三井久明	国際開発センター
K1-2	ボランティア国別レビュー(VNR)報告書から読み取るSDG17(パートナーシップ)の進捗と課題	石田洋子	広島大学
K1-3	アジア諸国におけるSDGsモニタリング・評価の進捗と残された課題	佐々木亮	国際開発センター
<b>自由論題1 評価手法</b>			<b>経済203</b>
		座長 齊藤貴浩	大阪大学
J1-1	EUの次期R&Iプログラム「Horizon Europe」の策定プロセスに関する一考察～我が国における次期科学技術基本計画の策定への参考素材として～	野呂高樹	未来工学研究所
J1-2	産業連関表による中国のマルチメディア産業の基礎的実証分析	○ 陳泓旭 ラウシンイー 高辻秀興	麗澤大学 麗澤大学 麗澤大学
J1-3	体験を通じた人間関係力を育成するプログラムの評価事例	○ 池田満 土屋耕治	南山大学 南山大学
J1-4	国連気候変動枠組条約(UNFCCC)における温室効果ガス(GHG)イベントリ作成のキャパシティ・ビルディングの効果を測る評価手法の検討	○ 池田まりこ 梅宮知佐	地球環境戦略研究機関 地球環境戦略研究機関
<b>自由論題2 行政評価</b>			<b>経済202</b>
		座長 南島和久	新潟大学
J2-1	総務省行政評価局と行政相談の史的展開	山谷清秀	浜松学院大学
J2-2	韓国国会予算政策処(NABO)の目的・機能・業務内容の現状と評価	上野宏	国際開発センター／神戸大学
J2-3	地方自治体におけるEBPMに基づく行政経営システムの構築とプログラム評価の方法論	○ 刈谷剛 那須清吾	高知工科大学 高知工科大学
<b>2018年12月1日(土) お昼休み 12:00-13:15 (12:05-13:00 理事会 経済100)</b>			
<b>2018年12月1日(土) 午後の部I 13:15-15:15</b>			
<b>共通論題2 評価の国際的潮流</b>			<b>経済103</b>
		座長 湊直信	国際通貨研究所
K2-1	DAC評価項目のSDGsへの適合の議論とその背景	村岡敬一	外務省/OECD/DAC開発評価ネットワーク
K2-2	評価に関する国際的ネットワークとアジア太平洋評価協会(APEA)の概要	佐藤由利子	東京工業大学/アジア太平洋評価協会
K2-3	北東アジア開発協力フォーラムに参加して：韓国、中国、ロシアのODA評価の現状と課題	石田洋子	広島大学
<b>共通論題3 日本のエビデンスに基づく政策(EBPM)への取組と期待：EBPM導入現場の実情</b>			<b>経済203</b>
		座長 正木朋也	国際協力機構/北里大学
K3-1	エビデンスに基づく政策立案 - その系譜と本質 -	田辺智子	国立国会図書館
K3-2	広島県EBPM推進ワーキンググループの取り組み	石田直人	広島県
K3-3	日本におけるエビデンスに基づく政策形成(EBPM)の現状と課題	小林庸平	三菱UFJリサーチ&コンサルティング
K3-4	国の行政実務の立場から - EBPM推進の現状・課題と未来像	砂山裕	総務省
<b>自由論題3 自治体評価</b>			<b>経済202</b>
		座長 小島卓弥	NTTデータ経営研究所
J3-1	参加する市民・参加しない市民2 - 参加型評価のために無作為抽出された市民を対象とするアンケートの結果から -	窪田好男	京都府立大学
J3-2	自治体評価に対するイメージの役割による共通点と相違点	池田葉月	京都府立大学大学院(博士後期課程)
J3-3	階層分析法を用いた事務事業評価の枠組み	飯田洋市	公立諏訪東京理科大学
J3-4	介護予防活動に関連したプログラム評価開発における参加型評価活用の可能性	○ 下園美保子 小西めぐみ 大山早紀子 大島巖 松田哲子 岸恵美子 浜崎優子	愛知県立大学 愛知県立大学 川崎医療福祉大学 日本社会事業大学 奈良県下市町地域包括支援センター 東邦大学 佛教大学
<b>2018年12月1日(土) 午後の部II 15:30-17:30</b>			
<b>シンポジウム 国内のSDGsに関する活動事例とその評価</b>			<b>経済111</b>
		座長 氏川恵次	横浜国立大学
		討論者 佐分利応貴	笹川平和財団
		金藤正直	法政大学
S-1	横浜国立大学理事・副学長よりご挨拶	中村文彦	横浜国立大学
S-2	趣旨説明および論点提起□	加藤郁夫	横浜国立大学
S-3	なぜ今バランス・スコアカードなのか	吉川武男	横浜国立大学/エジンバラ大学
S-4	富士ゼロックスの復興推進室の活動について□	樋口邦史	富士ゼロックス
S-5	南足柄みらい創りカレッジとSDGsに関する活動について (南足柄みらい創りカレッジより中継) (南足柄みらい創りカレッジより中継) (南足柄みらい創りカレッジより中継)	遠藤一弥 鈴木正 富田直子 黒柳俊之	富士ゼロックス 富士ゼロックス ウィルウィンド 国際農業開発
	パネルディスカッション		
<b>2018年12月1日(土) 総会 17:40-18:20 (経済111)</b>			
<b>2018年12月1日(土) 懇親会 18:30-20:00 (食堂)</b>			

○印は、共同研究の代表者

2018年12月2日(日) 受付 09:30-10:00			
2018年12月2日(日) 午前の部 10:00-12:00			
共通論題4 国際協力機構(JICA)における新たな取り組み			経済103
		座長 青柳恵太郎	メトリクスワークコンサルタンツ
K4-1	JICAの事後評価における最新動向		新井和久 国際協力機構
K4-2	事後評価の定量分析:説明変数の定義と実務課題	○	南和江 国際協力機構 小川一弥 グローバルリンクマネージメント 正木朋也 国際協力機構
K4-3	JICAとフィリピン政府との合同評価による一考察		田中優子 国際協力機構
K4-4	JICAのプロセスの分析～事業の運営・管理者による評価の活用に向けて～	○	坂井美保子 国際協力機構 平田桃 慶応義塾大学大学院(修士課程)
共通論題5 政策評価制度とその断片化—行政学からの議論—			経済203
		座長 山谷清志	同志社大学
		司会/討論者 西山慶司	山口大学
K5-1	評価制度の断片化によるアカウントビリティの散逸		山谷清志 同志社大学
K5-2	大学の組織と評価—そのディメンジョン—		南島和久 新潟大学
K5-3	行政と評価関係—研究開発評価・政策評価・独立行政法人評価—		橋本圭多 神戸学院大学
共通論題6 評価的思考:日本のソーシャル・セクターに活用重視の評価を広める鍵概念			経済202
		座長 今田克司	CSOネットワーク
		司会 源由理子	明治大学
K6-1	なぜ評価的思考か、そしてそれはいかに実践されるのか—今日の状況における重要性(英語/逐次通訳)		Archibald, Thomas Virginia Tech University
K6-2	日本のNPO/ソーシャル・セクターで、なぜ今ETに注目することが必要か		今田克司 CSOネットワーク
K6-3	発展的評価とET		中谷美南子 評価コンサルタント
2018年12月2日(日) お昼休み 12:00-13:15 (12:05-13:00 編集委員会 経済100)			
2018年12月2日(日) 午後の部I 13:15-15:15			
共通論題7 国の施策・事業の評価～行政評価局調査の新たな展開～			経済103
		座長 長澤真吾	総務省
		討論者 山谷清秀	浜松学院大学
		司会 橋本圭多	神戸学院大学
K7-1	最近の行政評価局調査の事例—いじめ防止対策の推進に関する調査—		長谷川章 総務省
K7-2	最近の行政評価局調査の事例—買物弱者対策に関する実態調査—		中澤京介 総務省
K7-3	最近の地域計画調査の事例—障害のある学生等に対する大学の支援に関する調査—		山根京子 総務省
共通論題8 国会の政策分析・評価機能強化の為の独立財政機関(IFI)の国会への付置			経済203
		座長 廣野良吉	成蹊大学
K8-1	日本版独立財政機関の提言案(叩き台)と米国事例		上野宏 神戸大学/国際開発センター
K8-2	IFI導入上の我が国における課題		湊直信 国際大学
ラウンド テーブル1	評価ディベート:評価のお悩み相談会2018 ～研究・実践活動において日々生じている評価の課題や疑問(あるいはお悩み)を共有し、解決の糸口を探る～		経済100
		座長 小島卓弥	NTTデータ経営研究所
		進行補助 西出順郎	明治大学
2018年12月2日(日) 午後の部II 15:30-17:30			
共通論題9 SDGs達成に向けた評価のキャパシティ・ビルディング:グローバル目標と現場の実践をつなぐのは誰か?			経済103
		座長 米原あき	東洋大学
		司会 源由理子	明治大学
K9-1	SDG Evaluation: Translating Global Level Concepts to Local Level Actions		RUGG, Deborah H. Claremont Graduate University
K9-2	Practices and problems of localizing SDGs—Goal 4.7: Case studies at school context		米原あき 東洋大学
K9-3	How to build ownership by people is at the heart of localizing the SDGs		今田克司 CSOネットワーク
ラウンド テーブル2	再考「評価の研究」 ～「評価の研究」のあり方について議論を深める～		経済100
		座長 西出順郎	明治大学
		討論者 大島巖	日本社会事業大学
		山崎その	京都外国語大学
自由論題4 人材育成・学校評価			経済202
		座長 佐藤由利子	東京工業大学
J4-1	ミャンマー軍事政権下の初等教育におけるCAPSの効果検証		吉田夏帆 関西学院大学大学院(博士課程)
J4-2	「2015年洪水及び地滑り被害地における学校復旧計画」実施が児童生徒数の変動に与えた影響の評価分析		傘田博光 国際開発センター/大妻女子大学
J4-3	コミュニティスクールにおける学校評価ニーズについての調査—中部・関東地方の公立学校の場合—		橋本昭彦 国立教育政策研究所
J4-4	JICA「青年研修」事後評価と研修効果の要因分析	○	岸本昌子 日本国際協力センター 菊田玲子

○印は、共同研究の代表者